

# FROM KANSAI リサーチ

**フィルムコミッション (FC)**  
映画、テレビ、CMなどの撮影に際して、ロケ場所の紹介、許可・届け出手続きの調整や撮影スタッフの宿泊施設、弁当手配先を紹介するなど、撮影に関する支援を行う組織。地方公共団体や観光協会が事務局を担当していることが多い。

## 国内の主なフィルムコミッション

**s.1 大阪フィルム・カウンシル**  
平成12年、日本で初めて設立。近年の撮影支援作に米ハリウッド映画「G. I. ジョー」など

**s.2 堺フィルムオフィス**  
今年設立10周年を記念し、市内での撮影作品を集めた「さかいシネマウィーク」を2月に開催

**s.3 神戸フィルムオフィス**  
最近では映画「るろうに剣心 最終章 The Beginning」など撮影支援。映画「GO」では、国内初の地下鉄線路上でのロケを実現

**s.4 横浜フィルムコミッション**  
東京に近い人気撮影地。人気ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」では、市が観光マップなどでタイアップ

**s.5 北九州フィルム・コミッション**  
映画「相棒 劇場版Ⅳ」で市内の幹線道路6車線を12時間全面封鎖。映画「交渉人 THE MOVIE」では、国内で珍しい、空港の滑走路で実機を使ったハイジャックシーン撮影を実現

神戸市営地下鉄・上沢駅で行われたロケ (神戸フィルムオフィス提供)



北九州市内の幹線道路を全面封鎖したロケ (北九州フィルム・コミッション提供)

# 次は「映画のまち」にノミネート

## 「ものづくり」の大阪・八尾俳優が動かす

大阪市のベッドタウンで中小企業が集積する「ものづくりのまち」大阪府八尾市が生まれ変わるようにしている。目指すは「映画のまち」。昨年10月、映画やテレビなどのロケ撮影を支援するフィルムコミッション(FC)を立ち上げた。ロケ作品を通じてまちの新たな魅力を作り出す狙いだ。FCのなかでは最後発組となるが、地道な実績の積み重ねが求められそうだ。

### 一本の電話

「八尾の魅力大使」を委嘱されたが、何も連絡がない。なんで、もっと活用してもらえないんですか」令和元年、八尾市の大松桂石市長(52)に一本の電話があった。声の主は同市出身の俳優で平成24年、同大使に任命されていた青木崇高さん(41)。「龍馬伝」や現在放送中の「鎌倉殿の13人」など、NHK大河ドラマの常連でもある人気俳優だ。2人は令和元年末、同市内で会い、約4時間にわたり地元に対する思いを語り合った。青木さんは各地のロケ地をまわるにつれ、八尾もロケ地としての魅力を発信できると感じるようになったという。「映画のまち」として活性化を目指したいという青木さんの思いに、大松市長の気持ちも傾

### 出だし好調

FC設立後、八尾市の事務局には映画やテレビのドキュメンタリー番組などの撮影の打診が増えたという。昨年11月、設立後初の映画ロケも行われた。大松市長によると、青木さんと同様に八尾の魅力大

使で「十三人の刺客」などで知られる映画監督、三池崇史さんからも「惨殺シーン」を撮りたい。八尾に撮影場所はないだろうか」と相談があったという。機運を盛り上げようとロケに協力する市民ボランティアを募集したところ、登録者は約80人(2月16日時点)に達した。「映画出演を希望するエキストラの登録が多い」「市観光・文化財課」といい、まずは好調な滑り出した。

### 観光戦略に

平成12年に国内初のFC



映画のまちづくりに向けたキックオフイベントに登壇した俳優の青木崇高さん(左から2人目)＝昨年10月、大阪府八尾市



八尾市フィルムコミッションの設立後、初めて行われた映画のロケ＝昨年11月、同市の水呑地蔵院(同市提供)

「大阪フィルム・カウンシル」が設立されて以来、各地でFCが立ち上がっている。特定非営利活動法人「ジャパン・フィルムコミッション(JFC)」(東京)によると、現在約380団体が存在するという。FCが続々と誕生する背景について、JFCの関根留理子事務局長は、ファンがロケ地などを巡る「聖地巡礼」のように「作品がヒットすれば観光客が増える」という観光戦略の側面がある」と指摘する。

また、ロケ隊が長期間滞在することによる経済効果も期待できる。撮影誘致や支援で国内有数の実績がある北九州フィルム・コミッションによると、令和2年度までの5年間で経済波及効果は約18億円に達したという。近畿大経営学部の高橋一夫教授(観光マーケティング)は、映画とリンクした地域活性化について「名作『ローマの休日』のように、映画に登場したロケ地に物語性が付加され観光の集客効果につながる」と話す。

### 連携が大切

一方、運営上の課題も多い。八尾市のように多くのFCは自治体为主导して設立しているが、自治体の担当者が定期異動でひんぱんに代わることは珍しくない。FCは撮影者側の要望に



レギュラーライター 荒井薫

平成10年入社の大東大阪駐在。八尾市のイメージは利用したことがない「八尾空港」や「河内音頭」「天童よしみさん」。隣の東大阪市と同様「ものづくりのまち」の側面も強い。映画のまちでどんなイメージが新たに根付くか注目したい。

グラフィック: 西尻幸嗣